

# 第14回「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」

IN 宇佐美

## 報 告 書

2013年9月1日

主 催

特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ

### 目 次

ご挨拶	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	1
事業概要	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	2
主なプログラムのポイント	>>>>>	3
5日間の様子・ディレクター報告	>	4
協賛・寄付	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	9



## ご 挨拶

日頃より、私どもの活動にご理解ご協力ありがとうございます。

本年も「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」を無事に開催できました事、ご報告させていただきます。多くの個人団体のご支援により開催することができました、心より感謝申し上げます。

近年の気象は、ゲリラ豪雨や竜巻といったように局地的かつ過激な変化で危険を伴うことが多くなり、キャンプを開催するに当たっても以前にまして注意が必要となりました。幸い本キャンプにおいては危険な状況は無く、楽しく過ごすことができました。しかし、単に良かったということだけでなく、改めて自然に対する畏敬の念と感謝の気持ちを持つことが大切であると考えます。

東日本大震災から2年半が経ち、私たちは何を学び、何を実行できたのでしょうか。未だに避難所生活を強いられながらも希望を捨てずがんばっている人、復興に向け建設されつつある新しい街、などがある反面、希望を無くし荒廃した生活をする人、街とは呼べない手付かずの場所、と様々です。震災直後、人との繋がりが見直され、絆というキーワードをよく見聞きしましたが、その絆は今も日本の人々をつないでいるのでしょうか。真の絆とは、お互い様の心であり、苦しみを分かち合う責任だと思えます。キャンプを通して、自然に対する畏敬の念や真の絆を子どもたちに伝えていければと思っています。

震災からの復興、そして、日本を再興する原点は、教育の再生です。

それには、自分の考えを持ち精神的独立をし、他人の考えを理解し認め合う力を持ち、さらに率先して行動する勇気とリーダーシップを持った、「自立した人」づくりが必要です。

このキャンプは、「青少年の健全育成」「ボランティアリーダーの育成」を目的とし、「自分のことは自分でやる。一人でできないことは協力してやる。できる人はできない人を助ける。」自立と共生という社会の基本を伝える場です。キャンプでの様々な体験を通し、参加した児童・リーダーの自立心・共助心・創造力醸成の一助となれば幸いです。

日本の置かれた状況はまだまだ厳しいものですが、日本の再興の一助となるべく理念「自立型共生社会の実現」に向け活動してまいります。

今後ともご理解、ご支援よろしくお願い申し上げます。

平成 25 年 9 月 1 日

特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ  
理事長 喜 多 隆 正

## 実 施 概 要

構成団体	主 催 特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ 後 援 中央区教育委員会 特定非営利活動法人 東京中央ネット
協 力	中央区立宇佐美学園 社団法人 小田原青年会議所 特定非営利活動法人 宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会 特定非営利活動法人 魚食文化の会 江戸東京再発見コンソーシアム
主催団体 理念	「自立型共生社会の実現」
事業名称	第 14 回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」IN 宇佐美
事業目的	青少年の健全育成・ボランティアリーダーの育成
事業コンセプト	「自分でできることは自分でする。できないことは助け合う。」
開催日程	平成 25 年 8 月 5 日から 8 月 9 日 4 泊 5 日
開催拠点	中央区立宇佐美学園とその周辺地域及び小田原・湯河原地域
事業概要	子ども：3～6 年生の男女各 1 名 リーダー：2～3 名 合計 10～11 名で 1 つの班を構成。全 12 班。 班別行動を基本とし、豊かな自然環境の中で海・山・川のなどの各アクティビティを体験する組織キャンプ。寝室は学年男女別の 8 室。
参加児童	中央区在住・在籍の児童 3～6 年生 計 96 名
ボランティア人員	大学生・大学院生 39 名（文教・帝京・千葉明德短期大学など） リーダーOB 5 名 中学生 2 名 地域の方 12 名（宇佐美・湯河原地域） NPO・協力団体 8 名 宇佐美学園職員 約 20 名
問い合わせ先	特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ MAIL : <a href="mailto:kids13@tokyochuo.net">kids13@tokyochuo.net</a> TEL : 03-6226-6611
写真&報告書 DL	URL : <a href="http://www.npo-fc.or.jp">http://www.npo-fc.or.jp</a> (9 月中旬ごろまでにアップ致します) トップページ ⇒ what's new! ⇒ わんぱく KIDS 写真)

## プログラムのポイント

### ■わんぱく KIDS の約束

- 1、自分でできることは自分でしよう！
- 2、ひとりでできないことは助け合おう！
- 3、あいさつをしよう！
- 4、身の回りはきれいにしておこう！
- 5、生き物はたいせつにしよう！
- 6、リーダーになんでも相談しよう！

### ■方針

生活重視（あいさつ・清掃・整理整頓・履物をそろえる・身体をよく拭いてから浴室を出るなど）

### ■食事

手をつける前に自分の食事量を考慮し、同じテーブルのお友達とシェアをし、残さないようにする。嫌いなものは目標量を決めて食べる努力をする。

### ■班旗づくり

自分の目標と班の目標を旗に描き発表、期間中の班旗とし、班の仲間としての意識を高める

### ■山・川・海での自然体験

都会で出来ない体験により自然への理解を深める

自然での遊びを通じて常にチャレンジをし、成功・失敗体験をする

### ■工作(木育・木材に触れる、創る、知ることによる環境教育)

木や竹を材料とした工作により、創意工夫し物を作る楽しさの気づき

### ■江戸城石丁場遺跡散策

身近な地域からの歴史理解(中央区と宇佐美のつながりなど)

### ■ひものづくり・食育ガイダンス

他の生き物の命をもらって生きていることということへの気づき

家族をはじめ多くの人たちの労力があって食べ物があること意識付け

自己・他者を大切にすることの重要性の認識

### ■カレーづくり

役割を分担し、目標に向かって全員で活動することの楽しさと重要性の認識

### ■思い出発表会・キャンドルファイヤー

最後の夜にこれまでの思い出を発表し、全体の一体感と達成感を高め、キャンプの収束とする

## 5 日間の様子

	1 日目 (8 月 5 日)
朝	T-CAT 集合 (7:30) トイレ休憩 (海老名 S.A) 湯河原町町民体育館着 オリエンテーション レクリエーション
昼	幕山公園着 昼食 (弁当) 川遊び 宇佐美学園着 入所式 入浴 夕食
夜	旗づくり 消灯 (21:00) リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤



⑥

- ① バス車内 けっこう打ち解けあっています
- ② アイスブレイクのためのレクリエーション
- ③ ご協力頂いた小田原青年会議所のみなさん
- ④ 使った体育館も子どもたちで清掃します
- ⑤ 冷たくて流れの速い川をみんなで体験!
- ⑥ 旗づくり中

	2日目 (8月6日)
朝	起床 朝のつどい (7:00) 朝食 清掃  宇佐美海岸着 磯浜あそび
昼	昼食 (弁当) 磯浜遊び  宇佐美学園着 入浴 夕食
夜	宇佐美の歴史・石丁場講演  消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤

- ① 朝のつどい レクリエーション中
- ② 水筒の準備も自分たちでおこないます
- ③ 海遊び中のルール説明
- ④ 磯浜でヒトデ、ヤドカリ、ナマコ、カニなどを観察
- ⑤ 翌日の石丁場遺跡に関する講演

	3日目 (8月7日)
朝	起床 朝のつどい 朝食 清掃  判別行動 (ローテーション) ・裏山遺跡散策 ・工作 ・プール
昼	昼食 判別行動 (ローテーション)  入浴  夕食
夜	レクリエーション大会  消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤

① カプラ (積み木) を積み上げています

② オリジナルのうちわを制作中

③ 夜のレクリエーション大会

④ 裏山の江戸城石帳場遺跡にて 地元の方が石の採掘のデモをしてくれています

⑤ プールは子どもたちに大人気でした

4日目 (8月8日)	
朝	起床 朝のつどい 朝食 清掃 ひものづくり
昼	昼食 カレーづくり  夕食 (カレー) 入浴
夜	発表会 キャンドルファイヤー 消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤



⑥

- ① アジのひらきに挑戦中
- ② 生田理事による「命いただきます」講演
- ③ ひものは天日干しに
- ④ カレーづくり 今年は全ての班がおいしくできました！
- ⑤ 発表会で組体操をする子どもたち
- ⑥ 最後の夜のキャンドルファイヤー



	5日目 (8月9日)
朝	起床 朝のつどい 朝食 大掃除 退所式 出発 トイレ休憩 (新島ドライブイン) 小田原石垣山一夜城歴史公園着 自由行動
昼	昼食 (弁当) トイレ休憩 (海老名 S.A) T-CAT 解散 (17:00)



①



②

- ① 千手観音??
- ② 一夜城公園にて  
記念撮影
- ③ 帰りのバスも  
超元気!



③

### <ディレクター報告 (NPO・FC 井出 新之介) >

本年度のわんぱく KIDS は、たくさんの方々のご協力を得て、天候にも恵まれ、大きな事故なく、ほぼ予定通りのプログラムを行うことができました。ご協力・ご支援頂いたすべてのみなさま、送り出していただいた保護者のみなさまに心より厚く御礼申し上げます。

今回、キャンプのコンセプトを「自分でできることは自分です。できないことは助け合う。」とし、合言葉とすることで、子どもたち、リーダーたちに浸透させました。これは私たち NPO の理念でもあります。キャンプは旅行ではなく、宇佐美学園はホテルでもありません。「自分でできることは自分です。できないことは助け合う。」が大原則です。またひとつひとつの行動を細かく指導するのではなく、合言葉化したコンセプトを判断基準に、子どもたち・リーダーたち自身に「自分で考え、行動する」という自主性を重視しました。

また、昨年より引き続き、あいさつ、身の回りの整理・整頓、履物をそろえる・・・などといった、「生活」にも重点を置きました。今年から正式に清掃の時間を設定したことにより、例年と比べ、整った環境を保ち続けることができ、宇佐美学園のスタッフからもお褒めの言葉を頂戴しました。

安全管理に関しては、今年より特に水際関連の救命備品を増設し、手当てをいたしました。

このようにキャンプの基盤をしっかりとした上で、子どもたちは、海や川、山などでさまざまな体験・挑戦をし、充実した 5 日間を送ることができたのではないかと思います。最後の夜に厳かな雰囲気で行ったキャンドルファイヤーではたくさんの子ども・リーダーが別れを惜しみ、涙していたのが印象的でした。

次回への大きな繰り越し課題は、「食事を残さず食べること」・「忘れものを減らすこと」の 2 つとします。また、トピックとして、和式トイレの使い方がわからない子どもたちが増えてきているようです。そのためか、排せつしたものが流れていないようなことが多く見受けられました。笑い話のようですが、このようなことも子どもたちにとっては貴重な体験です。それぞれを来年以降の計画に活かして参ります。

キャンプが旅行でないのと同様に、わんぱく KIDS も独立した「サービス」ではなく、子どもたちとボランティアの育成を目的とした教育事業です。教育には、私たちのような NPO 組織だけではなく、保護者、地域、学校などがそれぞれ主体性をもち、連携し、協力する必要があります。ぜひ、引き続き「自分でできることは自分です。できないことは助け合う」ことにご指導・ご支援して頂きますようお願い致します。 - 8 -

## 協賛・寄付

(株)隅田屋商店	小坂こども元気クリニック
伊豆山漁業(株)	東京空港交通(株)
(公社) 東京青年会議所 中央区委員会	(株)シゲマツ
(株)ネオ・コミュニケーションズ	(株)ロイヤルパークホテル
朋和商事(株)	(株)サヨカ
タチバナエステート(株)	神林印刷(株)
(株)プラン・ドウ・モトハシ	昭和工機(株)
(株)フィックスジャパン	(株)シガル
(株)中央コミュニティー	平和農産工業(株)
協立工業(株)	魚河岸野郎(株)
(株)国際魚食研究所	(株)セントラルエステート
(株)マウンテン・ワン	

(※順不同 敬称略)